

omoihase route

【おもいはせの路】



季節や時の流れとともに表情を変える古代から現代までの様々な顔が見える路です。歴史におもいをはせるということから名付けられました。

マップの使い方
この面を地図側に折り返すと、地図とあわせてルート紹介がご覧になれます。



九品仏浄真寺

三品九体のとても大きな阿彌陀仏を安置する三棟の仏堂があり、九品仏の俗称で有名です。旧奥沢城主、大平出羽守の城跡に建てられ、今でもその土塁が残されています。本尊、梵鐘、仁王門等の貴重な文化財が多く、広い境内には都の天然記念物に指定されているカヤやイチヨウの大きな木があります。

ぽかぽか広場

明治45年(1912)に創設された玉川浄水場。世田谷の近代的な水道設備による給水が開拓されたのは大正10年(1921)からで、玉川田園調布に建てられた住宅への供給が最初です。この広場は貯水場上部に作られました。

宇佐神社

多摩川に向かって坂道を降りる途中に、宇佐神社があります。本殿の裏には鎮守の森があり、八幡塚古墳がひっそりと佇んでいます。



伝乗寺

本堂には、柔和なお顔のお地藏様が安置されています。頭と身体で造られた年代が五百年も違うといわれ、昔から「大変なご苦労をなさったお地藏様」だと伝えられています。

御岳山古墳

5世紀後半から6世紀中頃の円墳で、かなり勢力のあった豪族のものといわれています。満願寺に保管されている7つの鈴のついた鏡“七鈴鏡”はここで見つけられました。

等々力渓谷



全長約1キロの等々力渓谷は、23区内唯一の渓谷です。谷間は木々に囲まれ、ひんやりとした風の吹き抜けて行く様子は、まるで幽谷の趣を残しており、都指定名勝として文化財指定されています。途中には8世紀頃のものと言われる横穴古墳があります。

さらに、等々力渓谷を川下へ降りて歩いて行くと、滝の音がとどろいてきます。いくつかある等々力の地名の由来のひとつ“不動の滝”です。等々力不動の本尊の不動明王は役行者の作と言われ、色々な願い事にご利益があると言われています。

玉川野毛町公園(野毛大塚古墳)

公園の一角には、墳丘の全長82メートル、高さ約11メートルの帆立貝式としては全国最大級の前方後円墳があります。勾玉やガラス玉などが出土し、現在は国立博物館に所蔵されています。

六所神社(野毛)

丸子川から坂道をのぼると、左手石段の上に六所神社の大きな鳥居がみえます。旧野毛村に散在していた6つの寺社を合祀して、ひとつにまとめた神社です。そのため祭神は六柱それぞれの神様です。



善養寺

境内にある、都の天然記念物の指定を受けているカヤの大きな木は、見るものを圧倒せんばかりの迫力です。また、お寺には五鈷杵なるものが寺宝として祀られています。お香で心身を清めた者が、この五鈷杵に額をつけると、ご利益を授かると言われています。

上野毛自然公園

国分寺崖線の林をそのまま公園にした、土の匂いと木の香りがいっぱいの自然一色の公園です。木々の間を縦のように地面より高い位置に階段が設けられていて、園内の散策の便をはかっています。階段をのぼりきった高台には桜があり、春には一面が淡いピンクに染まります。



五島美術館

平安様式に造られた美術館には、多くの古美術が展示されています。庭は手入れの行き届いた日本庭園と自然を残した斜面とから成り、20数種の石灯籠や様々な表情をした野仏、六地藏が置かれています。南の斜面には、都の天然記念物に指定されたコブシの木があり、春には白く大きな香りのある花をつけ、とても綺麗です。

富士見橋(上野毛)

五島美術館わきの切通しを走る東急大井町線にかかる富士見橋。ここからの景色は絶景で、美しい地域づくりの推進を目的とした国土交通省の「関東の富士見百景」に選定されています。

法徳寺

本堂右の筆塚に「明治十四年五月半嶺聞書」とした碑がたっています。幕末から明治初期にかけて法徳寺に寺子屋を開き農村子女の教育に献身した大塚貞三郎を讃えたものです。

行善寺

行善寺はその昔、玉川八景の眺望場所として多くの人々の訪れるところでした。二子の鮎漁とならんで、瀬田に行善寺ありと江戸市中に広く知られたようです。將軍もしばしば立ち寄り休息したといわれています。いまでも、朝夕に赤く染まった風景は、まだまだ一見の価値があります。



おもいはせの路おすすめルート 6.7km



九品仏浄真寺から二子玉川駅までのコースです。左の写真のような道標や路面のサインがあります。地図の◆マークを参考に歩いてくださいね。

